



2530

いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

- 事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル 2F (0246) 25-3000
- 例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘 (0246) 35-3000
- 例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：山野辺倉平 幹事：阿部 弘行 発行：会報・広報委員会

第 2835 例会 (10 号) 2012 年 9 月 13 日 (木) 晴れ

会員卓話 SPEECH

「千葉県柏市での 3・11」

常陽銀行 平支店長

渡辺 久 弥氏



7 月に千葉県、柏市から転入してまいりました。福島市出身ですので、大震災の被害の状況は、大方わかっていたつもりでしたが、実際に着任をして、いわきの街中を歩き、また、豊間地区の集落のあとなどを見ると、被害の大きさに愕然とし、悲しみがこみ上げるのを禁じえませんでした。千葉県柏の地では、いかに大震災と向き合ったのかについてお話しします。

3 月 11 日午後 2 時 46 分のあの時はちょうど、当日は金融庁の検査を次の営業日に控えており、水戸の本部と電話ですり合わせを行っておりました。電話口で「あつ地震だ。やばい、切ります」の会話をした直後、柏にも震度 5 強の揺れが襲ってきました。福島で、宮城県沖地震は経験していましたが、こんな揺れは初めてで、金庫を閉めさせ、お客様を支店の外に誘導するのが精一杯の状況でありました。

余震も収まってきて中に入ると、昭和 39 年建築の建物には結構ヒビが入っている。強い余震でも来たら、大変だと思い、テレビをつけっ放にして、緊急地震速報をいつでも受信できるようにし、余震に備えながら、勘定の締め上げを実施しました。

東北地方が大変なことになっていることが、徐々にわかってくると、実家（福島市）の父のことが心配になり、連絡を取りましたが、つながらない。業務用の携帯で電話をかけ「大丈夫」との声が聞けました。これが、その後の対応が、遺漏なく出来た起点となったと思います。当日、いちばん困ったことは、女子行員の帰宅の足確保でした。常磐線、東武野田線、TX などすべての電車が止まり、タクシーも拾えず、ホテルがとれない。12、13 の両日、店を開けるようにとの指示があり、結果的に、女性の一部が柏にとどまってもらって、店を開けることが出来たわけでありました。

14 日朝、柏駅南口に行ったら、大変な人の列です。改札にたどり着けない人たちが長い列をつくり、整然

と 2 列縦隊を維持している。結構、寒かったと思いますが、ただひたすら、駅員の指示に従って、電車の来るのを待っている。避難所で食料の配給を待つ整然とした人々が世界的に評価されましたが、ここでも、日本人のすばらしさが発揮されていたのではないかと思います。

柏支店の前には「伊勢角」という地元スーパーがあります。震災後、毎朝、行列ができました。あまりの人の多さに、開店を早めるなどの対応をとっていたが、供給が間に合わない。この状態は震災後 10 日程度続いたと思います。人気の商品は、食品では乾き物で栄養価のあるもの、カップメンなどは、すぐに無くなっていった。

14 日以降は、原発事故が注目されるようになって来ました。ある時、窓口にデイバックを背負った母親と娘さんと思われる二人が現金を下ろしに見えました。我孫子から、東京の息子さんのところに避難するのだというお話でした。我孫子と柏は隣町、上野と柏は電車で 29 分です。東京近郊でも、避難を始めていた人たちはいたようです。幼稚園でも、柏から避難脱出した園児さんと親も何人かいるとのことで、ずいぶん敏感に反応するもんだと驚きました。

計画停電には参りました。どの地区に入っているのか判らない。直前にならないと実施が判らない。消えてみないと判らない。主たる電柱に支配されている地域が一まとまりとして停電地域となっていたようです。支店では朝 5 時半に出勤、シャッターを開け、鍵の取り出し、停電の時刻を待つという状態でした。

柏はライフラインが止まってしまうという事態には至りませんでした。大きな混乱がありました。

この 1 年半は故郷、福島を意識した 1 年半だったと思います。いわきナンバーが、スーパーの駐車場に停まっていると、両側のスペースが空いている、などということが実際あったそうです。これには、同郷の若手行員と怒っておりました。茨城県常陸太田出身で官房長官をお務めになられた故郷山静六先生は、色紙に「愛郷無限」と揮毫なさっておられました。故郷を愛する気持ちは、計り知れないということだと思えます。常陽銀行は、平銀行をその前身としております。平銀行は、いわきに仄々の声を上げた銀行であります。地元いわきの復興、発展のために微力ながら、全力を尽くす覚悟でございます。

★本日の例会案内 9月20日(木)PM12:30~
新世代奉仕委員会担当卓話
お食事メニュー=にぎり寿司

★次回の例会案内 9月27日(木)PM18:00~
観月例会(家族同伴) 田町 平安
※ゴルフ愛好会コンペ AM 8:12
五浦庭園カントリークラブ

9 月は新世代のための月間

(各ロータリアンは青少年の模範)

2012~2013年度
国際ロータリーのテーマ

「奉仕を通じて平和を」

Peace Through Service

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

◆司会：阿部幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・
四つのテスト（新田俊彦会員）〕



新田俊彦会員

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

米山記念奨学生 ソータイ君

★結婚祝



佐々木宏さん
(9月18日)

すっかり忘れていました。家庭内の文化で誕生日はお互い祝うことになっているのですが…。福岡では自宅に届いたのですが、今後もこの場でしたければ幸いです

◆会長挨拶ならびに報告



ドイツ南部のフィンリンゲン・シュエニンゲン・センター・ロータリークラブからの基金で購入した絵本や遊具を、12日に新田俊彦社会奉仕委員長とともに市内の保育園に届けて参りました。8日、郡山市で社会奉仕委員会セミナーが開かれ、私と新田委員長で出席してきました。新田委員長に報告していただきます。

会場で、富岡ロータリークラブの大和田会長、小高クラブの中島会長から、浪江クラブを含む3クラブに対して、いわき分区から寄せられた援助に御礼の言葉をいただきました。先週の例会後、鷲佳弘会員のお見舞いに阿部弘行幹事とともに行ってきた。自宅で倒れ、救急車で運ばれたそうだが、落ち着いてきて早ければ今月中に退院できる、とのことでした。



ドイツのロータリーから寄贈された遊具に喜び
小川保育所の園児たち

◆幹事報告

○郡山、いわき平東、いわき小名浜の各ロータリークラブから会報が届いています。

委員会報告

◆出席委員会（志賀弘昌委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
9月13日	52名	28名	—

◆雑誌委員会（山崎慶一委員長）

「ロータリーの見どころ、読みどころ」
横組み10ページに、郡山北ロータリークラブが取り組んでいる中学生のインターンシップ事業とその体験発表会が文部大臣賞を受賞した、と紹介しています。素晴らしい活動です。26ページに米山記念奨学事業の基礎知識がとじて、寄付金がどのように使われているか解説しています。縦組み18ページに、小名浜ロータリークラブの比佐臣一さんが良き人生とふるさと復興について寄稿しています。

ガバナー月信3号にバスターガバナーの松永輝彦さん（原町RC）が、日本人で2人目のRI会長を務めた向笠廣次氏の「極めて平凡な人間が異常な機会を与えられるのがロータリーだ」という言葉を紹介しています。昔は「ロータリー命令」という言葉があった。善し悪しは別として、若い方にこれらの言葉をかみしめていただきたいと思います。

◆社会奉仕委員会（新田俊彦委員長）

9月8日の社会奉仕委員会セミナーについて報告します。第一部で阿久津バスターガバナーが基調講演し、各分区のガバナー補佐がそれぞれ社会奉仕活動の現況報告をしました。ドイツのフィンリンゲン・シュエニンゲン・センター・ロータリークラブからの浄財で購入した絵本や遊具を、12日に山野辺倉平会長とともに小川保育所に届けてきました。56人在籍の保育所で大変喜んでいただきました。川前、桶売など6カ所の保育所を回り、1日で138キロを車で走った。昼食に煮込みうどんまでご馳走になるなど、歓迎を受けました。

◆スマイルボックス委員会（大久保健蔵副委員長）

♥山野辺倉平さん（渡辺さん卓話宜しくお願い致します）♥飯野光世さん（お蔭様で流鏑馬神事無事終える事ができました。ありがとうございます）♥坂本佳友さん（全国各地からいわき市、又は福島県内の保育園・保育所視察団が来県来市しており、その対応におわれている日々です。休みが多く申し訳ありません）♥佐々木宏さん（結婚記念日のお祝、ありがとうございます。すっかり忘れておりましたが）♥勝田博志さん（花見支社長、写真ありがとうございます）♥志賀弘昌さん（木村さん、皆さんの好意と友情で市議選でトップ当選させていただき有難うございます）以上、6件